

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0176700391		
法人名	社会福祉法人 稚内木馬館		
事業所名	グループホーム ひだまりはまなす館		
所在地	北海道稚内市はまなす2丁目9番25号 (電話) 0162-34-8044		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年9月8日	評価確定日	平成20年9月19日

【情報提供票より】(平成20年8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年4月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	16人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル亜鉛鋼板葺 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000~28,500 円	その他の経費(月額)	30,000~33,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,035 円		

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 79.2 歳	最低	60 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立稚内病院(総合)	道北勤医協宗谷医院(内科)
---------	------------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

稚内市郊外のオホーツク海岸沿いに面し、ディサービスセンター・障害者共同生活介護施設が併設された社会福祉法人が運営するグループホームです。デイサービスで通所される地域の人達との日常的な交流や毎年開催される「ひだまり祭り」では町内会との連携も行われています。また、稚内市や道との連携を重要視して、敬老の日には市長の協力のもとビデオレターで利用者にメッセージを戴き視聴するなど行政との良好な関係作りにも取り組まれています。食事が楽しみなものになるように専門の調理師を配置したり、家族や運営推進会議の委員、市内の介護支援専門員にホームの取り組みを見てもらいそこの意見を運営に反映させる取り組みも実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催について改善点が挙げられていましたが、定期的に開催され委員にホームの実際の取り組みなど見ていただき意見交換されて、そこの意見を運営に反映させてケアサービスの質の向上に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者と職員が参加して行われ、ユニット会議や講習会などを通じてケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、広報誌「木馬館からこんにちは」で広く一般に公表されると共に運営推進会議でも報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在2回実施されています。議題は 外部評価の意義について 昼食試食会での意見交換 クリスマス、忘年会の行事見学について 食材、メニュー、嗜好の把握について 栄養バランス、摂取カロリーについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ホーム主催の行事や運営推進会議、家族会への参加率は高く、普段より家族の要望や意見、不安な面の話し合いは行われている。また、利用者の状態変化については都度電話連絡をすると共に受診時には、詳細に報告しています。金銭管理についても出納帳の報告など実施されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ディサービスセンター・障害者共同生活介護施設が併設され日常生活を通じて地元の人々との交流が行われています。また、町内会加入で敬老会などの地域活動に参加したり、ホーム主催の「ひだまり祭り」や「カラオケ歌謡ショー」では町内会の人達も参加して地域との連携も実践されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして事業所独自の理念を作り上げ職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、日常の業務やユニット会議を通じて理念の実践に向けて取り組んでいる。		今後は、さらにユニット会議を通じて理念を共有する取り組みが検討されているので、その実践に期待します。
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	デイサービスセンター・障害者共同生活介護施設が併設され日常生活を通じて地元の人々との交流が行われている。また、町内会加入で敬老会などの地域活動に参加したり、ホーム主催の「ひだまり祭り」や「カラオケ歌謡ショー」では町内会の人達も参加して地域との連携も実践されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者と職員が参加して行われ、ユニット会議や講習会などを通じてケアサービスの質の向上に利用されている。また、外部評価の結果については、広報誌「木馬館からこんにちば」で広く一般に公表されると共に運営推進会議でも報告され意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在2回実施されている。運営推進会議の委員は、稚内市担当者・包括支援センター・地域の役員・家族会が参加して具体的活動に取り組まれている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、介護保険相談調整委員の受け入れや稚内市や道との連携を重要視して、敬老の日には市長の協力のもとビデオレターで利用者にメッセージを戴き視聴するなど行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>特筆すべき点として、稚内市や支庁への積極的な働きかけが行われている。</p>
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の状態変化については都度電話連絡をすると共に受診時には、詳細に報告しています。また、金銭管理についても出納帳の報告など実施されています。</p>		<p>特筆すべき点として、カラオケ歌謡ショーや稚内市長のビデオレター制作で家族が視聴でき、その出来栄えが特に素晴らしい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム主催の行事や運営推進会議、家族会への参加率は高く、普段より家族の要望や意見、不安な面の話し合いは行われている。</p>		<p>今後は、介護保険制度や職員の待遇面について家族や運営推進会議で理解を得られる活動も検討されてみては如何か。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く法人及び管理者は、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。また、来訪者に分かりやすく共用空間には、職員の顔写真付きで掲示がされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人事業部での研修参加やグループホーム連絡協議会、稚内市主催の研修会などの外部の研修参加が実践されている。また、ユニット毎で交代制でリーダーを決めて自己啓発できるような取り組みも行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域的に同業者の数も少なく交流の難しい面もあるが、グループホーム協議会での交流や市主催の会議での交流などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学や職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう個々に応じた工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、過去の生活歴を把握しながら、一緒になってカラオケなどの趣味への支援や散歩や買物などで気分転換ができるように支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に応じて、パズル、ビデオ鑑賞などの趣味への支援やサロベツ原野や宗谷岬などへのドライブ、散歩や買い物などの外出ができるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、ユニット会議での職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、理美容師などのボランティアの訪問支援や併設されているサービスの利用、通院の支援など柔軟に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	常勤の利用者を良く知る看護師の配置やかかりつけ医との連携で、健康管理や医療の活用ができるように支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師・看護師と連携して、利用者・家族と相談しながら全員で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけなど対応されている。また、記録等の個人情報の扱いは、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、ホーム行事への参加や散歩、ドライブ、カラオケでの歌唱など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒になって食事の準備やおやつ作りをしている。また、ラーメンなどの麺類や寿司などの外食も支援されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に支援している。また、足湯にでかけたり、入浴拒否の利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら折り紙や紙細工、畑での野菜の収穫、ドライブなど気晴らしの支援も行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑での野菜の収穫、買い物や散歩、サロベツ原野や宗谷岬へのドライブなど戸外にでかけられるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や玄関は鍵をかけていない。利用者が外出する時は、鈴などの鳴り物で職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、救急救命や火災避難訓練も定期的の実施されている。</p>		<p>今後は、火災以外の災害を想定した、物品の確保や訓練実施を行う計画がされているので継続的に実施されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人内の栄養士の指導・アドバイスも受け栄養バランスやカロリーについても把握され、且つ水分や食事摂取量が具体的に記録されている。また、食事が楽しみなものとなるように専属の調理師が配置されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、身体機能の低下や安全に配慮してエレベーターや昇降機が配備されている。廊下の壁には、利用者一人ひとりの作品を展示できるスペースがあり、思いを大切にしている。前庭では、畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように工夫されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビなどの電化製品や箆笥などの使い慣れた家具が持ち込まれていたり、家族の写真が飾られ、本人が居心地良く過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。